

トップダウン&ボトムアップで

行職員の

イキイキ・ワクワク

を本気で取り戻す

地域金融機関の仕事は、本来、お客様や地域に貢献することのできる、とても意義のあるものです。地域で、お客様が当たり前のように会社名に「さん」をつけて呼んでくれるのも、地域金融機関くらいでしょう。入行（庫）に際し、全員が地域金融機関での仕事に“やり甲斐”を感じていたはずです。

しかし、昨今の地域経済の動向、足元の決算状況、そしてマスコミによるネガティブな面ばかりとりあげた報道など、内外からの様々な情報をうけ、とくに若手・中堅層は“やり甲斐”を見失ってしまっているように見えます。私が、この何年か地域金融機関を訪問するなかで感じている最大の懸念は、若手・中堅層から“イキイキ・ワクワク”感が伝わってこないことです。「新卒採用が難しくなっている」という話も聞きますが、先輩たちのこうした姿を、学生たちが感じていることも一因としてあるでしょう。

言うまでもなく、地域金融機関は「人材がすべて」です。どんなに素晴らしい戦略・戦術も、担い手が乗り気にならなければ、継続的な成功はありえません。いまの状況を打破し、“イキイキ・ワクワク”を取り戻させるには、人事部などの特定部署が策を講じればよいという段階は過ぎています。本部棟にいる全員の「脳ミソ」の総合計の30%くらいは費やす必要があるでしょう。トップの強いリーダーシップも当然必要ですし、ボトムアップでの取り組みも必要です。二つ三つの施策で満足することなく、「できることは全てやる」「うまくいかなかったとしても改善しながら進み続ける」、そんなことが求められます。

繰り返しますが、地域金融機関の仕事は、とても意義のあるものです。そこに働く若手・中堅層が、もっと“イキイキ・ワクワク”することで、地域のお客様の「夢の実現」に多くの貢献ができる。そんな世界の実現にむけて、ともに進みたいと考えています。

ご支援方法（例示）

進め方

1. 貴行（庫）職員（とくに若手・中堅層）の“イキイキ・ワクワク”にむけて必要な取り組み・実施方法等を、経営トップや事務局と一緒にディスカッション
2. 実施を決めた取り組みは、順次、貴行（庫）主導で実施。担当部署とも意見交換を行い、実施をサポート
3. 実施状況を定期的に確認・共有しながら、より効果を出すための改善策をディスカッションし、担当部署とも連携
4. 上記の1～3を繰り返しながら進む

期間・頻度

- 2年間
- 対面での打合せは、2～3回 / 月
 - ・ うち、最低でも1回 / 月は、経営トップと打合せ

貴行（庫）体制

- 事務局メンバーを配置
 - ・ 専任・兼任のいずれでも構わないが、「他の業務が忙しく、本件対応が劣後した」という状況を生じさせないことは必須

■ 外部（弊社）を入れる意義

- 貴行（庫）の良さ・強みを活かした取り組みができる
 - ・ ゼロベースでの変革が是とは限りません。自社の良さ・強みを活かしてこそ、成果につながりやすい取り組みになります。しかし、自社の良さ・強みは、内部からは見えにくいものです。だからこそ、外部の目が意味をもちます。
- 取り組みを継続するためのペースメーカーが得られる
 - ・ 変革への取り組みは、既存業務の繁忙を理由に対処が劣後されがちです。また、結果がでるまでの時間軸が長い場合、中途半端な対応に終わることもあります。外部との定期的な打合せをペースメーカーにすることで、着実に前に進めます。
- 経営トップと若手・中堅層との間を、本音で繋ぐことができる
 - ・ どの組織でも、経営トップと若手・中堅層の間では、温度差・認識違いがあり、お互いがお互いのことを見えていないものです。しかし、本取り組みでは、それが効果低減の要因になります。外部だからこそ、社内での遠慮を抜きに、本音ベースで両者の間を繋ぎます。

本件に関心ありましたら、まずは以下までご連絡ください。
貴行（庫）にうかがいますので、ありがたい姿や、考えなどお聞かせいただけますでしょうか。
あわせて、共に進む相手として足る者か、弊社について見極めてください。

BRAVEYELL株式会社（ブレイブエール）

代表取締役 高橋昌裕

メール： takahashi@braveyell.co.jp

電話： 03 (3573) 0131

住所： 〒104-0061 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル8階



対応工数に限りがあるため開始をお待ちいただく場合がございます。ご了承のほどお願い申し上げます。